

北九州市民の会ニュース

北九州統一メーデー開催！



【小倉城天守閣広場へのパレードの様子】

5月1日、小倉城天守閣広場前で第85回北九州統一メーデーが行われました。

前日からの雨も上がった晴天の中、838名が参加し、出店や署名などにぎやかなメーデーとなりました。特に、多くの若者の参加が、新緑に映えました。

パレードが合流し、北九州のうたごえでメーデーは開会されました。来賓のあいさつ、争議団からの訴え、各団体からの訴えなど、現在の問題点が浮き彫りとなりました。

今、大企業が大もうけする一方で、労働者の賃金は減少、そのうえ、消費税増税、社会保障改悪など国民生活が危機に直面し、「格差と貧困」が拡大しています。労働者が団結し、たたかいを前進させよう！とメーデー宣言とメインスローガンが採択されました。

最後に、「団結ガンバロー」で、メーデーは閉会しました。



【メーデーでの発言の様子】

激突の情勢 政治を変える新しい共同を 戸畑革新懇第4回総会 井下顕弁護士が記念講演



【「集団的自衛権は、やくざの論理」と話す井下弁護士】

4月18日（金）、戸畑革新懇第4回総会が開かれました。第1部では、井下弁護士が「憲法と集団的自衛権」について明快で熱のこもった

お話をされた。参加者は、熱心に聞き入った。

第2部総会では、代表世話人の荒川徹市議から、経過報告と2014年度の活動方針が提案された。若者が参加するような具体的な行動を考えようという意見がだされ、討論した。運動方針、予算案、人事案等、提案通り採択された。



【会場は満席、運動方針を確認する参加者】

今後の予定

5月3日【土・祝】

9条まつり

開会 10:30～ 勝山公園（中央図書館裏）

憲法集会

開会 13:00～ ムーブ（2Fホール）

「戦争する国はイヤっチャ！」

講師 田島泰彦 上智大学教授

平和とくらしを守る北九州市民の会
〒803-0817 小倉北区田町13-21 田町ビル3F
TEL093-592-5000 FAX093-571-4346
<http://siminnokai.sakura.ne.jp>
e-mail:koe@siminnokai.com

まっとうな労働を取りもどそう

過労死根絶をめざして

人間らしく働くための九州セミナー

4月12日～13日「人間らしく働くための九州セミナー」による「過労死・過労自死、職場の精神障害を予防しよう！」の学習会が、北九州で行われ九州各県・市内から140人を超える参加者で行われました。



家族会の寺西さん

12日は「過労死企業名公表訴訟」の意義と「過労死防止基本法」制定の意義と到達点を全国過労死を考える家族の会代表

の寺西笑子さんが講演、また「九州における過労死・過労自死事例を通しての提言」を福岡第一法律事務所の梶原恒夫弁護士が講演しました。

寺西さんは、96年に夫が過労自死、01年労基署で労災認定。「過労死企業名公表訴訟」では、企業名を公表して社会的監視下に置くことで企業は猛省し再発防止になると提訴しました。

「裁判」は、厚労省による、いわゆる「ブラック企業」4000社に対して立ち入り調査の実施や悪質な事業所名を公表するなど、訴訟の取り組みがこうした分野に波及しています。

過労死防止が法律に

また、「過労死防止基本法」制定の取り組みでは、08年過労死弁護団全国連絡会議総会で「過労死防止基本法」制定の取り組みを決議。11年11月に超党派の国会議員へ働きかけ、議員立法で制定させるために制定署名を提起し現在までに54万筆を超える署名が寄せられました。

「過労死防止基本法」は、過労死等防止対策推進法(案)という形になりましたが、過労死が法律的な言葉になる、歴史的な一步を踏み出しました。

家族会は法案が成立をしても国まかせではなく、自分たちが参加をするスタイルを考え、過労死のない社会・過労死を根絶する社会をつくりたい思いでこれからも頑張ると訴えました。

過労死防止は組合の最重要課題に

梶原弁護士は、過労死・過労自死事例を通して次のように提言を行いました。

過労自死、メンタル不全によるうつ病などは、単なる長時間過密労働だけではなく、一人ひとりが、競争の中で分断させられて精神的にも孤立した状況、構造的な変化を感じています。

そこでの課題は①問題の重要性についての認識の程度②労災認定の支援体制③労災認定に必要な証拠収集④収集された事実の分析⑤認定活動過程を通じて職場へのフィードバックによる職場・労働環境改善の取り組みにつなげる、ことが必要です。

事例紹介では、福岡市職労の取り組みが(飛び梅国体事務局係長のくも膜下出血過労死事件)紹介され「労働者の命の問題を取り組まないで、何が労働組合か。」と提起したことを契機に本格的な取り組みになりましたと報告を行いました。



組合の重要課題と語る梶原弁護士

(北九の仲間 2014年4月15日号NO.1241より)